

No.2	事業名	高齢者の学びの拠点等事業化可能性調査	補正 予算額	5,184 千円
------	-----	--------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

高齢者の生きがいづくりや健康増進に資するため、昭和 54 年から活動を行ってきた但馬高齢者生きがい創造学院（市内在住者 92.8%）は、通学困難者の増加などにより学院生が減少してきている。また、現施設（旧豊岡南高校校舎、現所有者 J A たじま）は、①バリアフリー対応がなされていないこと、②老朽化による維持管理経費の増加、③現在の無償借用期間が平成 35 年で終了することなどの課題を抱えている。

一方で、市道大開線（大開通り）は、空き店舗が多く存在し、将来的にも人口減少により更なる空洞化が懸念される。

これらの課題を解決すべく、交通利便性のよい中心市街地に高齢者の学びの拠点を、併せて中心市街地の活性化にも寄与できる機能を持つ施設整備に向けての可能性調査を行う。

2 事業概要

(1) 内 容

現在の但馬高齢者生きがい創造学院をコア団体と位置付けるとともに、将来の中心市街地を見通した上で、どういう機能を付加するのか、どういう整備手法があるのかなど、高齢者の学びの拠点として事業化に向けての可能性調査を行う。

（関係者ヒアリング、空き店舗調査、経済波及効果試算、整備機能及び手法の検討、維持管理運営の検討、概算事業費等）

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 その他参考事項

(1) 整備機能・手法等を検討後、具体的な施設整備に取り組む。

(2) 但馬高齢者生きがい創造学院の状況

16 講座 20 教室（陶芸、木彫、盆栽、麦わら細工、書道、表具、俳句、短歌、絵画、民謡、編み物、囲碁、写真、ダンス、パソコン、カラオケ）

在籍者数 延べ 432 人（H27. 4. 1 現在） 平均年齢 75. 2 歳